

知多都市計画事業
東海太田川駅周辺土地区画整理事業

竣	功	
記	念	誌



新しく生まれ変わった
太田川駅周辺



C O N T E N T S

目 次

竣工の挨拶

- ・市長挨拶 4

太田川駅周辺のまちづくり

- ・東海市の概要 まちづくりの理念 5
- ・土地区画整理事業(事業概要等) 6
- ・整理前後の航空写真 11
- ・整理前後の町名町界 12
- ・まちの移り変わり 13
- ・連続立体交差事業(事業概要等) 15
- ・市街地再開発事業(事業概要等) 16
- ・駅周辺施設(駅東地区) 17
- ・駅周辺施設(駅西地区) 19
- ・駅周辺のにぎわい 21
- ・事業のあゆみ 23
- ・まちづくりニュースのあゆみ 25

統計資料

- ・数字で見る駅周辺の変化 26

竣工の挨拶

市長挨拶

知多都市計画事業東海太田川駅周辺土地区画整理事業は、計画から40年、着手から30年余りの長い年月を経て、この度、令和6年(2024年)2月に換地処分という本事業の大きな節目を迎えることができました。

これもひとえに区域内の権利者を始め、土地区画整理審議会委員、評価員、国や愛知県などの関係者、そして多くの市民の皆さまのご理解、ご協力の賜物であり、心より感謝申し上げます。

東海市は昭和30年代後半に名古屋南部臨海工業地帯に鉄鋼産業が誘致されたことを契機とし、工業を基幹産業とする都市として大きく発展してきました。しかし高度経済成長に伴う急激な都市化により市の様相は大きく変化する中で市街地は分散し、中心となる市街地の核が形成されていなかったため、市の核となる拠点の整備が本市の重要な課題の一つとなっていました。

そこで、市の中心となる太田川駅周辺において「東海市の顔」となる魅力ある中心市街地づくりを進めるため、昭和53年度(1978年度)に太田川駅周辺整備の計画づくりに着手し、長い年月をかけ地元住民と検討を重ね、昭和63年度(1988年度)に土地区画整理事業、連続立体交差事業及び市街地再開発事業を「三位一体」の事業として基本計画を進め、平成4年度(1992年度)から施行面積約64.3ヘクタールの本市で最大規模の土地区画整理事業に着手しました。

本事業により、太田川駅前線を始めとする都市計画道路4路線や区画道路、都市公園を計画的に配置し、また、太田川駅前には東西の駅前広場のほか、東側には「どんでん広場」、「芝生広場」、西側には「大屋根広場」などを有する幅員30m及び50mの広幅員の歩道を整備することで、一目で太田川駅前とわかる特徴的で緑あふれる公共空間を実現し、一年を通して様々なイベントが開催され、にぎわいを創出しております。

また、ユウナル東海(東海市芸術劇場)を始め、商業施設ラスパ太田川や日本福祉大学東海キャンパスなどの民間施設の進出により、「東海市の顔」にふさわしい活気あふれる中心市街地を形成することができました。

今後も太田川駅周辺を中心とした更なるにぎわいにあふれるまちづくりに取り組んでまいりますので、皆さまの変わらぬご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げ、竣工のごあいさつとさせていただきます。

東海市長 花田 勝重



太田川駅周辺の まちづくり

東海市の概要

東海市は知多半島の西北端に位置し、西は伊勢湾に面し、北は名古屋市、東は大府市、東浦町、南は知多市に接しており、東西に8.06km、南北に10.97km、面積43.43km²で、人口は11万3千人の都市です。名古屋市の中心地区まで約15km圏内に位置し、本市の東部は自然に恵まれた丘陵地、中央平坦部は農地や住宅地、また伊勢湾に面した西部は愛知県の主要な工業地帯である名古屋南部臨海工業地帯の一角を形成しています。

本市には、新東名高速道路と新名神高速道路を結ぶ伊勢湾岸自動車道のインターチェンジや名古屋高速4号東海線があり、また、中部国際空港から20km圏内であり、さらには国際産業ハブ港を目指す名古屋港の港湾区域でもあることから、本市は陸・海・空の交通の要衝としての役割を担っています。特に中部国際空港に乗り入れる名鉄常滑線と知多半島を縦断する名鉄河和線の分岐駅である「太田川駅」は、名古屋や中部国際空港まで約20分という距離にあり、非常に利便性の高い地域です。

まちづくりの理念

太田川駅は明治45年(1912年)に開業し、昭和6年(1931年)の河和線開通以来、名古屋・常滑・半田方面に鉄道が分岐する主要な交通結節点であり、市の中心駅の役割を担ってきています。

また、駅周辺のまちの特徴として、駅前立地でありながら商店街のようなものはなく、農家住宅が多く建つなど、土地利用が混在する、中心市街地らしさのないまちでした。そして、車社会への移りかわりとともに、踏切による駅前の交通渋滞や地域分断などの問題が発生してきました。

このようなまちの課題を解決し、「市の玄関口」の整備を目的に、土地区画整理事業、連続立体交差事業、市街地再開発事業を三位一体として事業実施しました。



土地区画整理事業

事業の目的

本地区は、市の中央部に位置し、名鉄常滑線・河和線の分岐点である太田川駅を中心とした地区であり、市の玄関口となるべき条件を備えていながら、優れた立地条件が生かされていませんでした。さらに、本市の中心地区を形成するうえで、解決すべき問題を多くかかえていました。

そこで、土地区画整理事業により公共施設の整備改善と宅地の利用増進を図り、本市の玄関口にふさわしい中心市街地の整備を図りました。

事業の概要

- 事業名 知多都市計画事業 東海太田川駅周辺土地区画整理事業
- 施行面積 約64.3ha
- 施行地区 東海市大田町
蟹田、前田及び乙下浜田の各全部、川南新田、後浜新田、下浜田、後田、郷中、畑間、細田、東畑、天尾崎、川島、的場及び汐田の各一部
高横須賀町
呉天石及び御洲浜の各全部、成宝新田、葭山、天神下及び川田の各一部
- 施行期間 平成4年度(1992年度)～令和10年度(2028年度)
平成4年(1992年)9月24日～令和11年(2029年)3月31日
- 総事業費 約436.3億円
- 移転戸数 719戸
- 合算減歩率 19.93%(減価補償地区)
- 施行者 東海市

事業の方針

道路については、地区内幹線道路1本、補助幹線道路4本を根幹として段階的に構成し、内外交通の円滑な処理と住宅地の居住環境の保全を目的として計画する。

また、歩道付き道路や特殊道路により歩行者の安全を図り、駅へのアクセスも考慮する。
さらに、市の表玄関にふさわしい駅前広場を計画する。

公園については、地区面積、地区内人口に対応した面積を確保したうえで、適所に配置する。また、近隣公園ともアクセスしたシンボルゾーンを形成する。

排水については「東海市下水道計画」に整合させ、全て管渠又はボックスにて計画整備する。



▶ 資金計画書(収入)

区 分			金額(千円)	摘 要
補 助 金	通 常 費	国費	2,905,600	5,760,800 千円 × [5.5/10,5.0/10]
		県費	－	
		市費	2,855,200	5,760,800 千円 － 国費
		計	5,760,800	
	交 付 金	国費	6,744,100	12,262,000 千円 × 5.5/10
		県費	189,555	県協議による
		市費	5,328,345	12,266,000 千円 － 国費 － 県費
		計	12,262,000	
	交 付 金 A	国費	849,000	1,698,000 千円 × 1 / 2
		県費	－	
		市費	849,000	1,698,000 千円 × 1 / 2
		計	1,698,000	
	交 付 金 B	国費	470,800	856,000 千円 × 5.5 / 10
		県費	59,398	県協議による
		市費	325,802	856,000 千円 － 国費 － 県費
		計	856,000	
地 方 特 定 道 路 事 業 費			611,000	地特 A：230,000 千円 地特 B：381,000 千円
公 共 施 設 管 理 者 負 担 金			998,000	3・3・23 大田公園
一 般 会 計	都 市 再 生 整 備 計 画	国費	2,715,997	6,789,992 千円 × 4 / 10
		市費	4,073,995	6,789,992 千円 × 6 / 10
		計	6,789,992	
	そ の 他 (ま ち づ く り 総 合 支 援 事 業)	国費	1,280,150	2,560,300 千円 × 1 / 2
		市費	1,280,150	2,560,300 千円 × 1 / 2
		計	2,560,300	
県 負 担 金			911,833	連続立体交差事業負担金
市 単 独 費			11,181,075	
寄 付 金 そ の 他			1,000	返還金等
合 計			43,630,000	

▶ 資金計画書(支出)

事 項				単位	事業量	事業費（千円）	摘 要
公共施設整備費	築造	道路築造費	幹線道路	m	4,231.90	1,300,304	駅前交通広場含む
			区画道路	m	11,814.06	1,640,935	常滑線側道1、2、5号線含む
			特殊道路	m	1,773.84	288,874	
		水路築造費	式	1	346,761	幹線水路は他事業	
		公園（緑地）施設費	m	24,784.38	－	施設整備は他事業	
		計			3,576,874		
	移転	建物移転費	戸	719	25,168,256		
		墓地移転費	式	1	140,667		
		計			25,308,923		
	移設	電柱移設費	本	341	240,986	電力柱、有線柱	
		ガス移設費	m	10,166.00	383,136		
		上水道移設費	m	12,704.00	347,441		
		計			971,563		
法第2条2項事項	上水道	式	1	572,939			
	下水道	式	1	386,093	管渠工		
	ガス	式	1	92,966			
	計			1,051,998			
整地費	m	339,700.00	702,395				
工事雑費	式	1	222,515				
調査設計費	m	643,080.57	3,535,000				
工事費計			35,369,268				
損失補償費	式	1	799,100	用水負担金含む			
減価補償費	m	26,764.73	4,836,632				
計			5,635,732				
事務費	式	1	2,625,000				
合計			43,630,000				

▶ 土地の種目別施行前後対照表

種 目			施 行 前			施 行 後		備 考
			地 積 (㎡)	%	筆数	地 積 (㎡)	%	
公 共 用 地 所 有 地	国 有 地	道 路	6,697.78	1.04		11,573.73	1.80	駅前線、駅西線、駅北線、駅南線、区12, 区8, 区6の各一部
		堤	－	－		－	－	
		水 路	161.07	0.03		－	－	
		計	6,858.85	1.07		11,573.73	1.80	
	地 方 公 共 団 体 所 有 地	道 路	81,625.14	12.69		169,510.62	26.36	
		広 場	－	－		11,097.42	1.73	駅前交通広場
		公 園	2,175.48	0.34		23,993.97	3.73	大田公園、天尾崎公園、御洲浜公園、的場公園
		緑 地	－	－		790.41	0.12	
		堤	6,028.26	0.94		－	－	
		井 溝	201.00	0.03		－	－	
		水 路	11,326.49	1.76		－	－	
		計	101,356.37	15.76		205,392.42	31.94	
	合 計		108,215.22	16.83		216,966.15	33.74	
宅 地	民 有 地	田	107,952.08	16.79	488	－	－	1号該当地 42筆1,537.74㎡、6号該当地 15筆608.67㎡
		畑	91,593.40	14.24	446	21,130.73	3.28	1号該当地 5筆675.30㎡、6号該当地 6筆107.90㎡
		宅 地	228,160.87	35.48	1,292	337,045.25	52.41	1号該当地 3筆133.63㎡、6号該当地 4筆84.79㎡
		池 沼	1,692.95	0.26	7	－	－	
		山 林	314.32	0.05	3	－	－	
		原 野	13.00	0.00	1	－	－	
		墓 地	2,019.61	0.31	6	2,325.96	0.36	1号該当地 3筆1,862.00㎡
	地 所 有 地	境 内 地	6,110.00	0.95	8	7,063.12	1.10	1号該当地 2筆420.00㎡
		用 悪 水 路	136.29	0.02	9	－	－	6号該当地 7筆122.82㎡
		た め 池	1,914.00	0.30	7	－	－	
		公衆用道路	2,274.50	0.36	49	－	－	6号該当地 28筆623.58㎡
		鉄 道 用 地	30,564.54	4.75	223	18,380.98	2.86	1号該当地 187筆20,381.95㎡、6号該当地 8筆151.13㎡
		公 園	1,769.00	0.28	2	－	－	3号該当地 1筆696.00㎡
		雑 種 地	18,615.15	2.89	117	19,617.11	3.05	6号該当地 4筆403.00㎡
		小 計	493,129.71	76.68	2,658	405,563.15	63.06	
	団 体 所 有 公 共 地	市 有 地	25,995.12	4.04	199	20,551.27	3.20	大田市営プール他、1号該当地 1筆68.30㎡、5号該当地 2筆140.55㎡、6号該当地 3筆126.51㎡
		東海市土地 開発公社用地	－	－	－	－	－	
		小 計	25,995.12	4.04	199	20,551.27	3.20	
	合 計		519,124.83	80.72	2,857	426,114.42	66.26	
	保 留 地		－	－	－	－	－	
	測 量 増		15,740.52	2.45		－	－	
	総 計		643,080.57	100.00	2,857	643,080.57	100.00	

▶ 減歩率計算書

整 理 前 宅 地 地 積 (台帳地積)	同更正地積 (測量増減を 加減したもの)	整理後宅地地積		差引減歩地積		減歩率	
		保 留 地 を 含 め た 宅 地 地 積	保 留 地 を 除 い た 宅 地 地 積	公 減 歩 地 積	公共保留地を 合 算 し た 減 歩 地 積	公 減 歩 共 率	公 保 留 共 合 算 減 歩 率
		㎡	㎡	㎡	㎡	%	%
519,124.83	532,150.13	426,114.42	426,114.42	106,035.71	106,035.71	19.93	19.93

▶ 減価補償金計算書

整 理 前 宅 地 総 額	整 理 後 宅 地 総 額 (予 想)	立 体 換 地 建 築 物 総 額	宅 地 価 格 総 額 の 減 少 額 (減価補償金)	用地買収費			交付金
				買 収 予 定 地 積	単価	用地買収費	
円	円	円	円	㎡	円/㎡	円	円
96,301,858,920	96,301,858,920	－	－	－	－	－	－

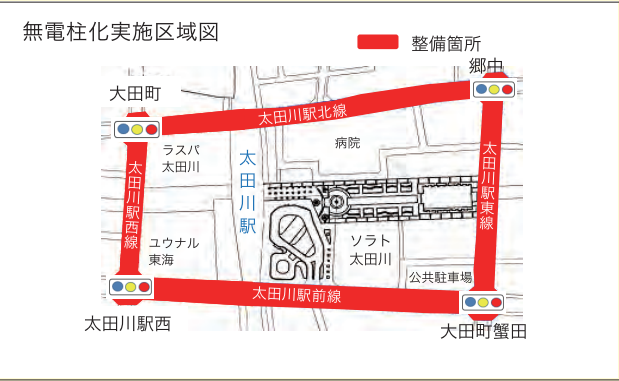
※1㎡当たり単価 (整備前)約180,967円/㎡ (整備後)226,000円/㎡

▶ 土地区画整理事業の事業計画決定

平成 4年(1992年) 9月24日・事業計画決定	平成25年(2013年) 3月25日・事業計画決定(第5回変更)
平成 5年(1993年)12月20日・事業計画決定(第1回変更)	平成26年(2014年) 2月28日・事業計画決定(第6回変更)
平成 7年(1995年) 9月 1日・事業計画決定(第2回変更)	令和 2年(2020年) 1月15日・事業計画決定(第7回変更)
平成15年(2003年)10月 1日・事業計画決定(第3回変更)	令和 4年(2022年) 9月 1日・事業計画決定(第8回変更)
平成22年(2010年) 2月 1日・事業計画決定(第4回変更)	

その他事業：
太田川駅周辺地区電線類地中化事業

太田川駅周辺では、道路の地下空間を活用して、電力線や通信線などをまとめて収容する電線共同溝(地下ケーブル収納構造物)の整備等を行う、電線類地中化事業を実施し、防災・減災、安心・安全な通行の確保、良好なまちなみ景観の形成を図りました。



整備前



整備後(太田川駅西線)

整理前後の航空写真

▶平成5年(1993年)

鉄道により、まちが東西に分かれ、多くの家屋が狭い道路に面し、密集している状況でした。



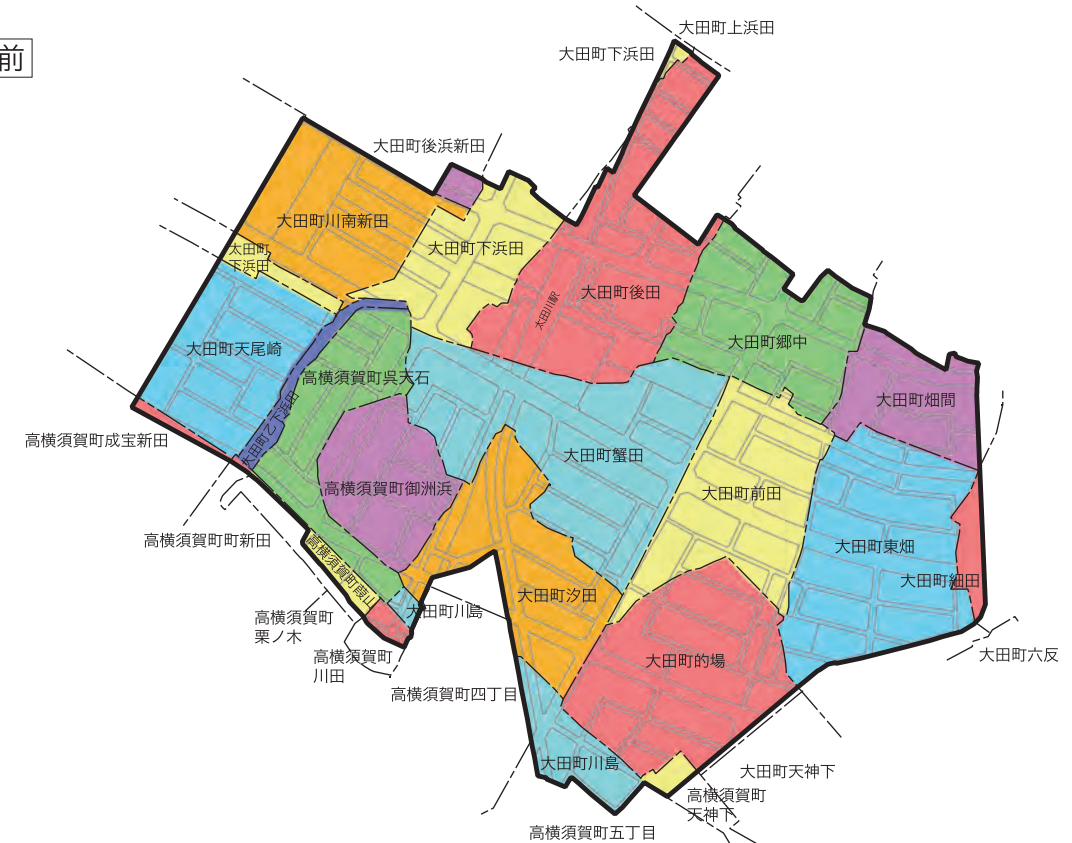
▶令和6年(2024年)

鉄道は高架化され、まちの東西の分断は解消されました。また、区画道路等の整備や、宅地の整形化により家屋の密集化も改善されました。

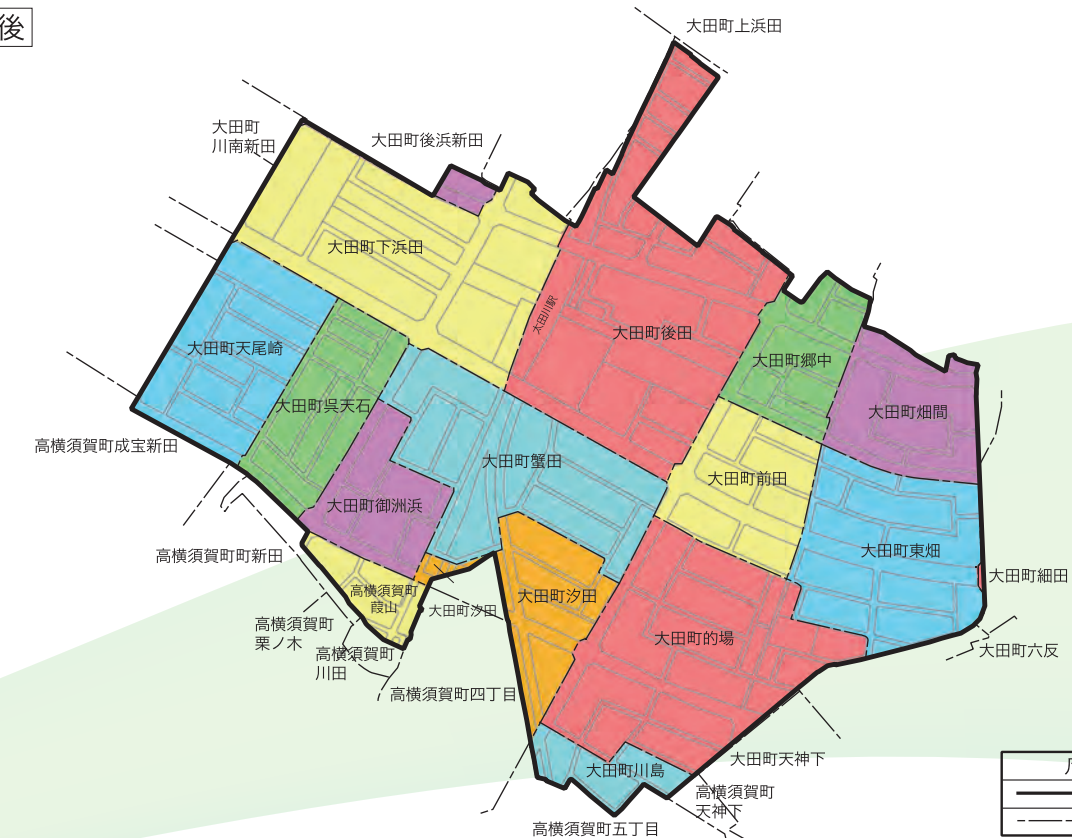


整理前後の町名町界

変更前



変更後



まちの移り変わり



整備前



整備後(太田川駅北線)



整備前



整備後(太田川駅前線)



整備前



整備後(名鉄太田川駅)



整備前



整備後(太田川駅東線)

Voice of Otawara

区画整理があったことで、道も広くなって消防隊のお手伝いがしやすくなりました。また、建物同士が密集していないということは、延焼防止にも有効だと思います。



東海市消防団
第5分団の声

区画整理後は太田川駅前まで山車を運行することができるようになって、多くの人に見てもらえるようになりました。道路が広がったことで山車を屋根にぶつける心配がなくなり、安全性も確保されて感謝しています。



大田まつり
保存会の声

連続立体交差事業

事業の目的

鉄道を高架化することにより、多数の踏切を一举に除却し、踏切渋滞、事故を解消するなど都市交通を円滑化するとともに、鉄道により分断された市街地の一体化を促進する目的で行う事業です。

事業の特徴

太田川駅は、中部国際空港へアクセスする名鉄常滑線と知多半島南部へアクセスする名鉄河和線の分岐駅であるため、単純に鉄道を高架化しただけでは、それぞれの上り線と下り線でポイントの切替えが必要となってしまいます。

そこで、輸送力の増強とスピードアップのため、県下で初めての3階建て構造の駅となっています。

事業の概要

- 事業名 知多都市計画都市高速鉄道事業
名古屋鉄道常滑線等(太田川駅付近)連続立体交差事業
- 施行延長 常滑線 2,045m 河和線 720m
- 施行期間 平成10年度(1998年度)～平成25年度(2013年度)
- 総事業費 約371億円
- 交差道路 13路線、15箇所
- 除去踏切 6箇所
- 施行者 愛知県



Voice of Otagawa

車利用者の声
(タクシードライバー)



線路が地上を走っていたころは、なかなか遮断機が上がらなかったけど、高架になったことでスムーズに運転できて助かっています。

市街地再開発事業

事業の目的

太田川駅の鉄道結節点の機能を生かし、土地区画整理事業とあわせて、土地の合理的かつ健全な高度利用の促進と都市機能の更新を図り、市の玄関口にふさわしい文化の拠点、魅力ある商業、まちなか居住を推進する質の高い住宅を整備し、中心市街地の活力と魅力づくりに資することを目的に実施しました。

ユウナル東海



バンベール太田川



事業の概要

- 事業名 知多都市計画事業 東海太田川駅西地区第一種市街地再開発事業
- 施行面積 約1.3ha
- 施行期間 平成24年度(2012年度)～平成28年度(2016年度)
- 総事業費 約154億円
- 施設概要 地下1階、地上16階
敷地面積 約6,977㎡
延床面積 約36,691㎡
- 用途 店舗、住宅(106戸)、駐車場、公共施設等
- 施行者 組合(平成24年(2012年)6月認可)



Voice of Otagawa

駅周辺施設利用者の声
(高校生)

「太田川駅周辺施設には、お店がたくさんあって、地元の子と集合して夜ご飯を食べたりしています。」
「お店も多く、たくさんのものが揃っているので、いろいろなショッピングができます。」

事業の概要

- 事業名 東海市太田川駅東地区優良建築物等整備事業
- 施行面積 約0.3ha
- 施行期間 平成20年度(2008年度)～平成21年度(2009年度)
- 総事業費 約28億円
- 施設概要 地上14階
敷地面積 約3,136㎡
建築面積 約2,303㎡
延床面積 約15,892㎡
- 用途 住宅(130戸)、駐車場
- 施行者 民間事業者

駅周辺施設(駅東地区) ～にぎわいあふれる東海市の玄関口～



本市の玄関口である名鉄太田川駅の東側では、緑あふれる美しい景観を誇り、交通結節点としての機能が充実した利用しやすい駅前広場を整備しました。

また、駅前広場と一体的に整備した幅員50mの太田川駅東歩道や、駅東歩道の中にある「どんでん広場」では、様々なイベントが年間を通して開催され、にぎわいあふれる市民の憩いの場となっています。

第29回 都市公園コンクール設計部門(小規模)「国土交通大臣賞」受賞

どんでん広場の骨格である幅員50mの歩道はイベント広場にもなり、左右のケヤキ並木とそれに続く芝生広場が緑豊かな空間を形成しています。

多くのベンチや姉妹都市関連の小空間を設けるなど居心地の良い場を目指したもので、「太田川駅前イベント広場」として第29回都市公園コンクール「国土交通大臣賞」を受賞しました。【平成25年(2013年)10月30日】



太田川駅前イベント広場



国土交通大臣賞受賞



太田川駅東歩道(50m)

歩道中央部分の大空間はイベント広場として活用されています。



噴水広場

直径7mの噴水で、直上、噴霧、ミストと表情を変えます。



芝生広場

各種イベントを開催する場所としても活用されています。



駅前広場

ロータリーの周囲にはシェルター(屋根)が設けられ、中心には市の木「くすのき」、市の花「さつき」が植えられています。



ニルフェルの泉

姉妹都市のトルコ共和国ブルサ市ニルフェル区を記念した広場で、ニルフェルとは、トルコ語で睡蓮を意味します。



ソラト太田川(市民交流プラザ)

商業施設ソラト太田川の3階にあり、「子育て総合支援センター」と「市民活動センター」によって構成されています。



太田川駅東公共駐車場

市民交流プラザと直結しており、壁面緑化や洋ランの描写など景観や環境に配慮しています。



東海市観光物産プラザ

東海市、知多半島4市5町及び姉妹都市等の観光の振興及び物産の普及を図る拠点となっています。

歴史をつなぐタイムカプセル ～太田川駅周辺の未来とともに～

新しいまちのスタートを祝して平成24年3月に「太田川駅前まち開きフェスティバル」を実施しました。

イベントに合わせて、東海市の未来を担う若者を代表して、市内小中学校の児童会、生徒会所属生徒、平成24年東海市成人式実行委員のメンバーが「未来の自分へのメッセージ」などを太田川駅東歩道(どんでん広場)にタイムカプセルを投函しました。

市政60周年を迎える令和11年(2029年)に、約20年の時を経て開封を行う予定です。



駅周辺施設(駅西地区)～文化とにぎわいの空間～



名鉄太田川駅の西側はユウナル東海(東海市芸術劇場)を核として商業施設、教育施設が設けられ、緑に囲まれた文化あふれるにぎわいの空間となっています。

東地区と屋外デザインを一体化させた、太田川駅西歩道(30m)には大屋根がかかり、雨天時にも屋外のイベントが可能になりました。



ユウナル東海(東海市芸術劇場)

マンション、商業施設、文化施設が併設された複合施設です。中には文化芸術の発信・創造の拠点である東海市芸術劇場が入っています。



東海市芸術劇場(大ホール)

1,025人を収容でき、さまざまなイベントに対応可能な大ホールです。



対面の広場

細井平洲先生と上杉鷹山公の再会の場面が表現された「対面の像」が設置された空間です。



太田川駅西歩道(30m)[大屋根広場]

幅員30m歩道には、雨天時にも屋外のイベントが可能な大屋根広場があり、一年を通し様々なイベントが開催されています。



大田公園

近隣公園であり、日本福祉大学東海キャンパスに隣接しています。



沖縄広場

姉妹都市の沖縄市を記念した広場です。

駅周辺のにぎわい

イベントの
詳細はこちら ▶



3月



ANIMAN ～春の宴～

東海市をサブカルの聖地へ！アニメ、漫画、コスプレなどサブカルチャーの祭典です。

5月



ランの道ウォーク

名鉄太田川駅から東へ延びる歩道には、12種類のランが約7,000株植栽されています。貴重な品種も楽しむことができます。

春

7月



ホットサマーガーデン

地元飲食店の絶品グルメと冷えたビールを楽しむビアガーデンです。

7月



沖縄フェスティバル



姉妹都市である沖縄市の「文化」と「食」と「空気」を肌で感じる2日間です。

夏

10月

秋



大田まつり

大田町の大宮神社の例祭として行われるまつり。大きな山車4台がお囃子とともに「どんでん」を繰り広げます。



10月



太田川駅前 ハロウィンタウン

ハロウィンディスプレイに彩られた太田川駅周辺で秋のグルメやお買い物を楽しめます。

12月

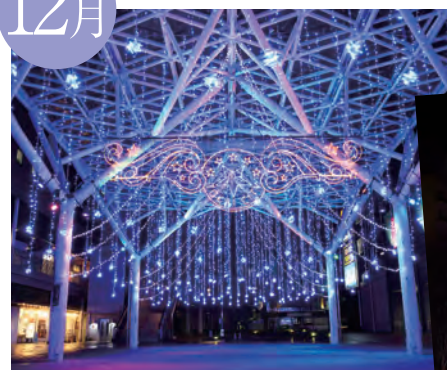


東海ハーフマラソン

「東海市を走ろう」というテーマのもと太田川駅を発着地点として、北は名和駅、南は市民体育館まで走るハーフマラソンです。



12月



冬

ウィンター イルミネーションin 太田川

太田川駅前のイベント広場が彩られるウィンターイルミネーション。音楽と光のショーも楽しめます。



事業のあゆみ

- 土地区画整理事業
- 市街地再開発事業
- 連続立体交差事業

- 昭和53年(1978年) ● 太田川駅周辺整備の計画づくりが始まる
- 昭和62年(1987年) ● 太田川駅周辺地区まちづくりニュース「おおたがわ」第1号発行 ①
- 平成 3 年(1991年) ● 土地区画整理事業都市計画決定
- 平成 4 年(1992年) ● 土地区画整理事業の事業計画決定
中心街整備事務所開所 ②
- 平成 5 年(1993年) ● 土地区画整理事業の事業計画変更(第1回)
- 平成 7 年(1995年) ● 土地区画整理事業の事業計画変更(第2回)
- 平成 9 年(1997年) ● 仮換地指定
- 平成13年(2001年) ● 名古屋鉄道常滑線等(太田川駅付近)
連続立体交差事業の事業認可
- 平成14年(2002年) ● ユニー太田川店閉店 ③
- 平成15年(2003年) ● どんでん広場営業開始 ④
中心街整備事務所移転(1回)
土地区画整理事業の事業計画変更(第3回)
- 平成18年(2006年) ● 太田川駅周辺まちづくり検討会議
- 平成20年(2008年) ● 名古屋鉄道常滑線等(太田川駅付近)
連続立体交差事業鉄道仮線切替
- 平成22年(2010年) ● 太田川駅東優良建築物等整備事業マンション
(バンベール太田川) 竣工 ⑤
土地区画整理事業の事業計画変更(第4回)



まちづくりニュース
「おおたがわ」第1号 ①



中心街整備事務所開所 ②



ソラト太田川 ⑥



ユニー太田川店 ③



どんでん広場 ④

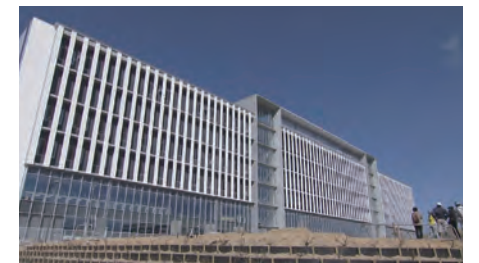


バンベール太田川 ⑤

- 平成23年(2011年) ● 東海市民交流プラザ(ソラト太田川)竣工 ⑥
太田川駅西地区市街地再開発事業都市計画決定
名古屋鉄道常滑線等(太田川駅付近)
連続立体交差事業本線営業開始
- 平成24年(2012年) ● 太田川駅前まち開きフェスティバル ⑦
- 平成25年(2013年) ● 第29回都市公園コンクール設計部門で
国土交通大臣賞受賞(太田川駅前イベント広場)
中心街整備事務所移転(2回)
土地区画整理事業の事業計画変更(第5回)
- 平成26年(2014年) ● ラスパ太田川竣工 ⑧
日本福祉大学東海キャンパス開校 ⑨
土地区画整理事業の事業計画変更(第6回)
- 平成27年(2015年) ● 太田川駅西地区市街地再開発ビル
(ユウナル東海) 竣工 ⑩
- 令和 2 年(2020年) ● 土地区画整理事業の事業計画変更(第7回)
- 令和 3 年(2021年) ● 物件移転完了
道路・排水路等整備完了
- 令和 4 年(2022年) ● 土地区画整理事業の事業計画変更(第8回)
- 令和 6 年(2024年) ● 土地区画整理事業換地処分公告
太田川駅周辺地区まちづくりニュース
「おおたがわ」第46号(最終号)発行 ⑪
- 令和 11 年(2029年) ● 事業(清算)完了



ラスパ太田川 ⑧



日本福祉大学 東海キャンパス ⑨



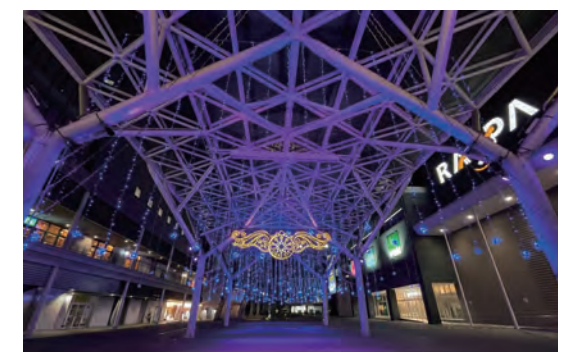
ユウナル東海 ⑩



まちづくりニュース
「おおたがわ」第46号(最終号) ⑪



太田川駅前まち開きフェスティバル(太田川駅前広場(東側)) ⑦

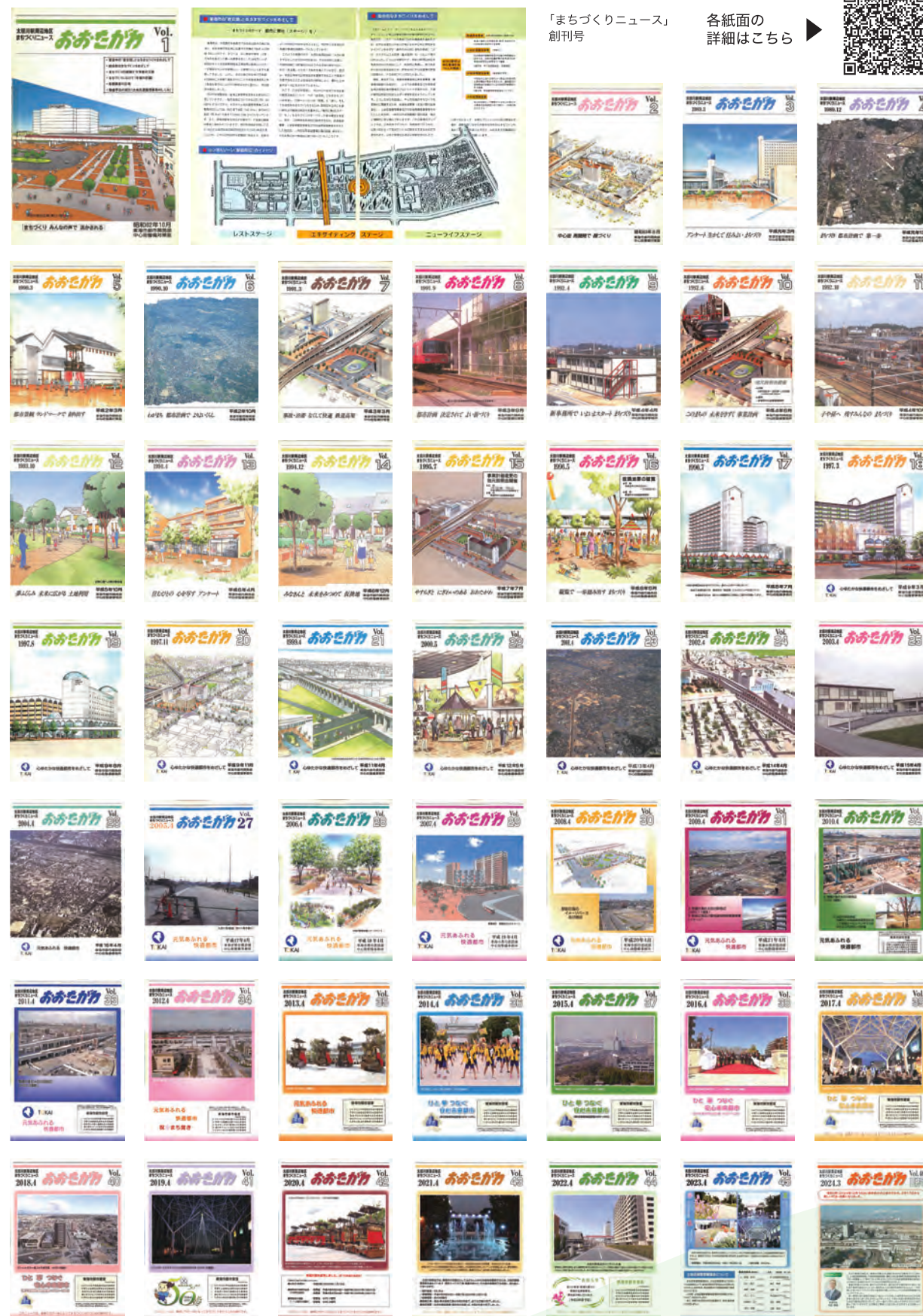


ウィンターイルミネーションin太田川
(太田川駅前広場(西側)大屋根)

まちづくりニュースのあゆみ

昭和62年(1987年)10月、太田川駅周辺のまちづくりに関する計画や状況等を市民の皆様にお知らせしご理解を得るために創刊されました。

太田川駅周辺の整備完了に伴い、令和6年(2024年)3月のVol.46をもって、その役割を終えました。



「まちづくりニュース」
創刊号

各紙面の
詳細はこちら▶



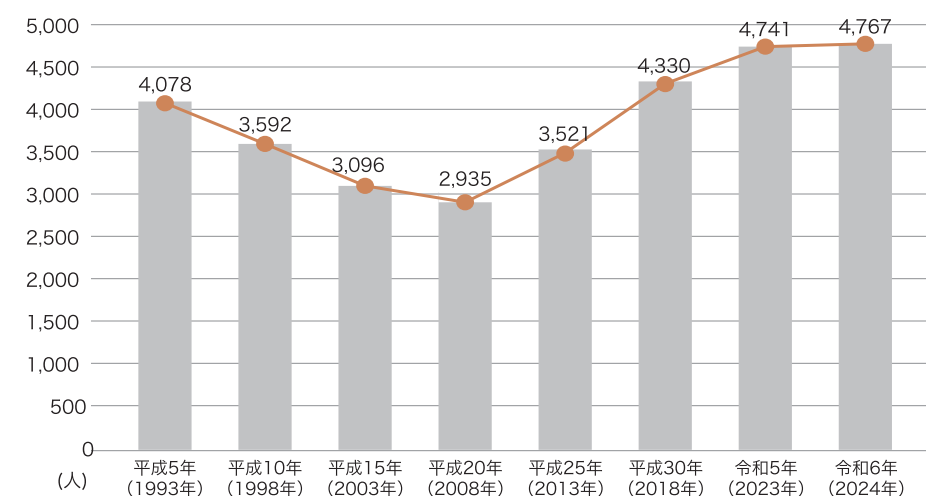
統計資料

数字で見る駅周辺の変化

▶ 中心市街地エリアの人口

4,078人 平成5年(1993年)

4,767人 令和6年(2024年)

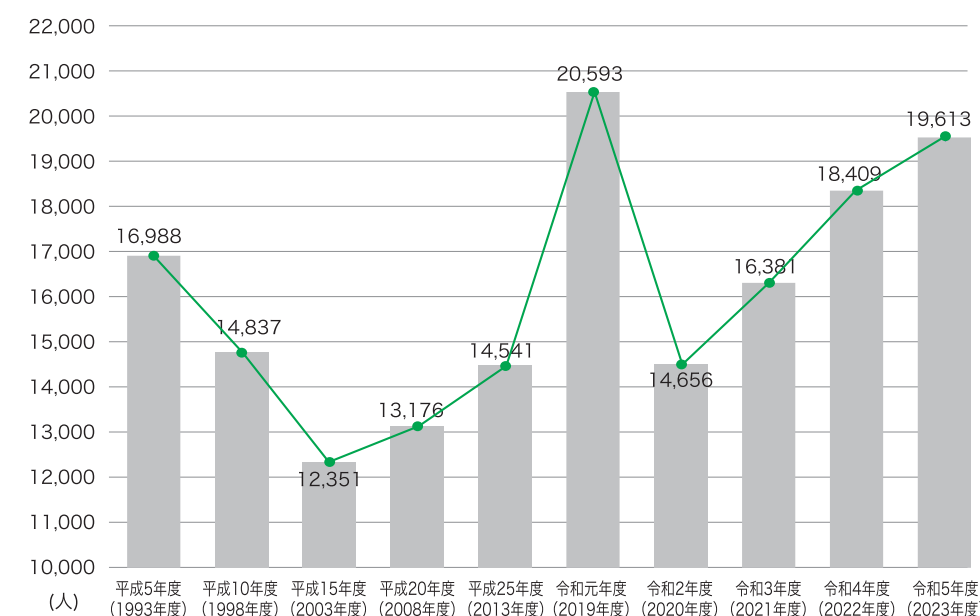


※中心市街地エリア(下浜田地区、郷中地区、蟹田地区、畑間地区、的場地区、汐田地区及び呉天石地区)の人口は「東海市中心市街地活性化基本計画」の指標人口に準ずるもの

▶ 太田川駅乗降客数

16,988人/日
平成5年(1993年)

19,613人/日
(令和5年(2023年))



土地区画整理審議会(定数12名)

会長

坂野智之
(H5.1～H25.1)

森岡克夫
(H25.1～R6.11)

副会長

大村幹雄
(H10.1～H15.1)

大橋貴哉
(H15.1～H25.1)

山口直之
(H25.1～R6.11)

委員

阿知和忠文

阿知和立子

井上正人

大村武夫

蟹江孝俊

北野達也
学識経験者
(星城大学)

佐治立雄
学識経験者

佐治伸之

佐藤時一

神野孝一

神野進平

神野博史
学識経験者

神野博孝

崔俊
学識経験者
(星城大学)

寺田力雄
学識経験者

伴野修

坂野浩

深谷稔樹

牧野勝男
学識経験者

安井昭二

山口一男

山田正人
学識経験者
(星城大学)

吉村輝彦
学識経験者
(日本福祉大学)

叶土地建物有限会社

株式会社テラコム

学校法人日本福祉大学

矢作地所株式会社

※順不同・敬称略

評価員(定数5名)

荻田正雄

久野兼幸

久野鐘清

近藤信衛

原田克己

村瀬銀一

森岡誠藏

山口直己

※順不同・敬称略

太田川駅周辺総合景観監修

名古屋造形大学名誉教授 岡田憲久（景観設計室タブラ・ラサ）

※敬称略



〒477-0031 愛知県東海市大田町の場1087番地
東海市都市建設部市街地整備課
TEL.0562-33-7761 <https://www.city.tokai.aichi.jp>

発行：東海市 発行年：令和6年(2024年)